

栄 養 科

栄養科長 松下友美

1. 栄養科基本理念

- ・安全で質の高い給食づくりを目指します。
- ・わかりやすい栄養指導を目指します。
- ・医療スタッフと連携してチーム医療の向上に努めます。

2. 令和5年度部門目標

- ・新システムで安全に食事オーダーができる環境整備
- ・アレルギーインシデントをゼロにする
- ・胃切除・腸切除 栄養指導資料見直し完了

3. 業務体制・スタッフ

病院職員：常勤管理栄養士5名（育児休業1名含む）・再任用管理栄養士1名
非常勤管理栄養士2名

委託職員：管理栄養士・栄養士・調理師・調理補助員 計約20名

4. 業務実績

《給食実績》 給食提供数：147633食（前年比+17.5%）

調乳本数：84788本（前年比+16.6%）

| | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|---------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 提供食数 (特食・調乳併用含) | 135901食 | 125937食 | 138124食 | 125626食 | 147633食 |
| 特別食 | 30339食 | 34486食 | 39862食 | 35481食 | 36281食 |
| 特別食割合 | 22.3% | 27.4% | 28.9% | 28.2% | 24.6% |
| 調乳本数(小) | 66652本 | 59742本 | 66652本 | 61959本 | 69350本 |
| 調乳本数(大) | 13907本 | 12834本 | 12406本 | 9573本 | 15438本 |

《栄養食事指導（加算）》 指導件数：1894件（前年比-3.7%）

| | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 入院 | 564件 | 1036件 | 1233件 | 1105件 | 1071件 |
| 外来 | 990件 | 941件 | 911件 | 861件 | 823件 |
| 合計 | 1554件 | 1977件 | 2144件 | 1966件 | 1894件 |

《NST加算》 算定件数：215件（前年比+49%）

| | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-----|--------|-------|-------|-------|-------|
| 算定数 | 287件 | 102件 | 118件 | 144件 | 215件 |

4. 令和5年度の総括

- ・食数は昨年度比で約2万2千食増加し、内訳では一般食が増加したため、特別食加算率は前年度より減少した。嚥下対応・食欲不振等個別対応が必要な患者が増え、一般食での提供量が増えたことが要因の一つと考えられる。
- ・栄養指導は、入院・外来ともに減少した。病名別内訳では腸切除後、アレルギー疾患、嚥下障害が増加、糖尿病、心疾患・心不全、がんが減少した。診療科別内訳では小児科、消化器内科が増加、内科、循環器内科が減少した。
腸切除後指導資料の見直しを行い、腸切除後指導は前年比46件増加した。また食物経口負荷試験での栄養指導対象者を一部見直し、前年比27件増加した。次年度に向け、年度末にはがん化学療法中患者への栄養指導介入の案内を行ったため今後指導件数の増加が期待される。
- ・給食管理は、引き続き委託会社と連携しながら安全な食事提供に努めた。
- ・NST介入件数は前年度より大幅に増加した。病棟担当管理栄養士や褥瘡チーム等との連携による介入が増加した。
- ・5月より新カルテシステム運用開始となった。新システムにおいて食事オーダーがスムーズに行えるようシステム課と協議調整を図り、入力者である医師等関連職種へはマニュアル配布や案内を実施した。食物アレルギー情報は患者基本情報と食事オーダーが連動することで、情報の一元化を図ることができた。新システム移行時に一部の食種やコメントの整備を行い、それらに基づく患者食基準（マニュアル）の修正を実施した。
- ・次年度に向けICUでは早期栄養介入加算算定に向けた準備を進めた。その他にも入院基本料に関わる栄養管理計画、褥瘡や緩和ケアに加え認知症ケアラウンドなどのチーム医療に管理栄養士が積極的に参画した。

5. 今後の目標

- ・食事オーダーのさらなる環境整備
- ・食事内容・栄養剤の見直しによる給食管理の質向上
- ・給食委託契約内容の見直しと新病院に向けた準備
給食委託会社は5年目となる。人の入れ替えもあり、安全な食事が提供できる人員確保と教育体制の整備が課題となる。